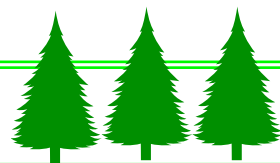




みつぎ便り



第195号 12月号 令和4年12月1日発行 http://itbs-ecopo.jp/environsurvey_report

板橋区役所南部土木サービスセンターの花づくりグループとエコポリスセンターのかんきょう観察員地域自主活動グループに所属しているボランティア団体「見次の会」です

ナンテン

見次公園では、高速道路にそった出入口側とバス通り側公衆電話ボックス近くにあります。

語呂合わせのようになりますが、ナンテンは古くから「難を転ずる」に通じる縁起木として、玄関先、鬼門、水廻りなどに植えられてきました。盆栽や花材としても利用される一方、葉や樹皮を含め医薬品となる成分も多いようです。また五〜六月には、枝先に可愛い小さい白い花を付けます。晩秋なると直径七ミほどの光沢のある赤い実が印象に残ります。

ナンテンはメギ科に属します。そこで、同じ仲間には実が白いシロミノナンテンや、葉に鋭い針をつけた



ヒイラギナンテン、葉が奇妙なヘビノボラズなどがあり、改めてその仲間を調べてみると新しい発見があっておもしろいです。

(利)



ローズマリー

ローズマリーは、秋から春までたくさんの小さな花が咲くハーブの一種です。暑く乾燥した気候を好みますが、耐寒性も高いので季節を問わず楽しめるため、高い人気があります。



爽やかな香りが特徴的でリラックスできるアロマやポプリとしても人気を集めています。鑑賞用のほかに料理、美容、芳香剤、薬用などハーブのなかでも特に幅広い用途があり育て方も簡単なので庭に一株あると便利です。

地中海が原産で「海のしずく」と呼ばれ古代ギリシャで古くから人々の暮らしに利用されてきました。変わらぬ愛や貞節の象徴とされ、多くの伝説とともに聖母マリアと結びついていている植物です。

見次公園では十一月に花壇に植えられましたので、時には鑑賞しながら古い伝説の歴史を感じてみてください。

(昭)